

曲がる太陽電池 (ペロブスカイト太陽電池) 革新的な次世代 エネルギーを語る ～その誕生とこれから・製造・ 応用・実装への可能性を探る～



桐蔭横浜大学大学院工学研究科
特任教授 宮坂 力氏

ペロブスカイト太陽電池の開発により、ノーベル賞
有力候補として注目されている国際的な研究者

桐蔭横浜大学発の“ペロブスカイト太陽電池”について、生みの親である同大学宮坂特任教授と、共に開発を進めてきた池上教授のお二人に、誕生から将来の可能性についてご講演いただきます。また材料開発に注力するキャノン株式会社様より同社の最新の高性能材料の開発と材料技術の可能性についてお話をいただきます。

講演①「ペロブスカイト太陽電池：革新的な次世代エネルギーの誕生と現在」

ペロブスカイト太陽電池は、化学・物理・半導体物性工学など、あらゆる科学の分野を融合して生まれた横浜発の次世代エネルギーです。脱炭素社会への切り札となりうるこの太陽電池の誕生から現在、そして、この太陽電池が普及した近未来の社会像についても解説します。

講演②

「ペロブスカイト太陽電池の製品化・実装化への課題」



ペロブスカイト太陽電池の社会実装に向けては、その耐久性、および、原料となる鉛やヨウ素の回収及びリサイクル、環境アセスメントなど課題も山積する。それらの課題解決に向けた研究の一端を紹介するとともに、製品化にむけた材料開発、装置開発についても解説します。

桐蔭横浜大学医用工学部 教授 池上 和志氏
ペクセル・テクノロジーズ株式会社 取締役

講演③

「ペロブスカイト太陽電池用高機能材料の開発と展望」



ペロブスカイト太陽電池の実用化に向けては、更なる耐久性の向上や大面積での量産安定性の改善が必要です。キャノンでは、複合機やレーザープリンターの基幹部品である感光体の開発を通して培った材料技術を応用し、課題を解決しうる高機能材料を開発しました。その材料技術の可能性について解説します。

キャノン株式会社 周辺機器事業本部化成開発センター 主席
基盤技術開発本部MB推進プロジェクト 主席兼務 奥田 篤氏



お申し込みは、こちら
の二次元コード
からお願いします。

【会 場】横浜情報文化センター 6階情文ホール
(横浜市中区日本大通り11)

【参加費】市内企業：1,000円<税込>/1名
市外企業：2,000円<税込>/1名

※当日会場で現金にて受けます。

※横浜知財みらい企業、「横浜ものづくり企業ガイド2024、2025」掲載企業、I D E C施設入居企業、横浜型地域貢献企業は、参加費が無料となります。但し、上記無料対象の場合、複数名での申込の場合、無料対象は1名とします。

8/27(火)

講演:15:00～17:10
交流会:17:15～18:15

お問合せ先

(公財)横浜企業経営支援財団 経営支援部 イノベーション支援課
Mail:innov@idec.or.jp TEL:045-225-3733

※ご記入いただいた個人情報は、内部資料(参加者リスト)を作成する目的、財団からの各種案内を送付する目的のみに使用し、他の目的には一切使用しません。